

欧州特許庁、アルゼンチン産業財産庁との協力覚書に署名

2017年5月12日
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、アルゼンチン産業財産庁と協力覚書に署名した旨、5月11日付けニュースリリースにて公表した。

EPOのニュースリリースによれば、この署名は、アルゼンチン産業財産庁が、5月9日及び10日にEPO（ミュンヘン）を訪問した際に行われたものであり、この二庁間協力には、特許手続やサーチ、審査、自動化、特許データやデータベースの使用・交換に係る共同活動が含まれるとしている。

また、アルゼンチン産業財産庁による今回のEPO訪問では、特許出願のサーチ・審査、EPOによる迅速化の取組（Early Certainty from Search）、データ交換、特許分類（CPC：Cooperative Patent Classification を含む）、特許審査ハイウェイ（PPH）、EPOのサーチツール（EPOQUE Net）等各種ツール等のトピックについて、二庁間で議論を行ったとともに、EPOからは品質ポリシー及び最新の取組の説明が強調されたとしている。

—EPOのニュースリリースは、以下参照—

[EPO and Argentina sign co-operation agreement](#)

(以上)